

# 令和5年度 坂町議会『議員』の評価

**評価期間** 令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日  
**評価実施者** 光岡 美里 年齢 45 才 議員経験年数 9 年  
**評価日** 令和6年3月31日  
**評価の分類価** ◎：「よくできた」 ○：「できた」 △：「努力が必要」 ×：「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
<b>1. 議員活動の原則</b> 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	自らの発言に責任を持ち、積極的に発言した。	もう少し発言できる機会があったのではと考えるため、より積極的に取り組むことを意識する。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	◎	社会福祉士会・精神保健福祉士の活動を通じて、坂町の良さを発信しながらも、厚生労働省の動向を追いながら障害者福祉分野、高齢者福祉分野、児童福祉分野への理解を深め、町が抱える課題に気づくよう努めた。	引き続き自らの社会福祉の基盤を活かしながら、町民全体の代表者として自己研鑽に努めていきたい。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	○	町の課題を社会福祉の視点からとらえ、常に全体の利益につながるよう考えて活動した。	もっと視野を広げて課題を捉えられるよう取り組みたい。
<b>2. 自由討議の拡大</b> 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	◎	全員協議会、各委員会などを通じて積極的に討論・発言し、合意形成に寄与した。	引き続きより良い合意形成がはかれるよう、積極的に議論を尽くしていきたい。
<b>3. 議会費および政務活動費</b> 政務活動費の使途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	◎	社会福祉・精神保健福祉・メンタルヘルスの専門分野の基盤を活かし、自己研鑽に努め、滞りなく必要書類を作成・提出した。	引き続き自らの社会福祉の基盤を活かしながら、国の動向を注視しつつ自治体レベルの福祉を考えられるよう研鑽に努めたい。
<b>4. 選挙公約の評価</b>	○	・一般質問を通じ、多様性を尊重し誰も取りこぼされないことのない町政の実現に向けて活動した。 令和5年6月：地域共生社会に向け中核機関の設置を 令和5年9月：防犯機能付き電話の購入設置日へ補助を 令和5年12月：視覚障害者のための点字ブロックを庁舎内へ設置しては 令和6年3月：公共施設にWi-Fi整備を ・産業文教委員会において委員長を務め、活動を通じ学校教育、道路交通、公共福祉の視点で活動した。	一般質問を通して、町民全体の福祉に繋がるよう引き続き取り組んでいきたい。